

IV-1 マナーをどう教えますか

【プログラムのねらい】

- ・高学年や中学生では、物事の善悪は理解できていても、時には判断に迷ったり、利己的な考えが優先したりすることを理解する。
- ・子どもが望ましい行動をしていくにはどのような姿勢で向き合うべきかを考える。

【プログラムの展開例】

時 間	進 め 方	準 備
10分	▶ アイスブレイキング ・グループ分け(5～6人のグループに分ける) ・普通の自己紹介に加え、自分の性格や今の気持ちを「実は・・・」という言葉で紹介していく。	P2「アイスブレイキング 各種」参照 名札
35分	▶ Work ・エピソード1を読み芳子や雅夫にどんな言葉掛けをしたらよいか考える。 ・エピソード2を読み、看護師さんの言葉に対してどのように対応すべきか考える。 ・①②についてグループで話し合う。 ・資料を参考に子どもに守らせたいマナーを書く。 ・今後どのような姿勢で子どもに向き合うべきか考える	ワークシート 筆記用具 資料
15分	▶ グループ発表、まとめ、振り返りシート ・アドバイスを読み、感想を発表する。 ・各グループで出た考えや思いについて全体で発表・紹介し、話し合う。 ・各自で自分が子どもに対して生かせそうなこと、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。	振り返りシート

IV

思春期（小学校高学年・中学生）の子どもの保護者を対象